

シリーズ

公共施設 大量更新問題

第3回「公共施設の更新費用ってどれくらい？」

【前回のおさらい】

市ではこれから施設の維持や必要な費用などの問題に取り組むために「四日市市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

これまで大量に整備してきた公共施設は老朽化が進んでおり、これから一斉に改修や建て替えの時期を迎えます。限られた予算での施設の管理が課題となっています。

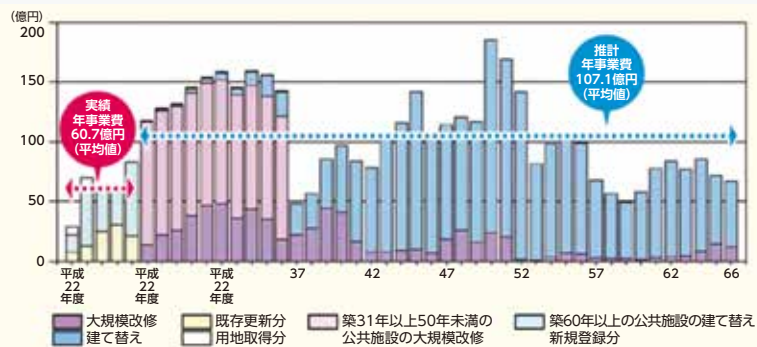
1



前回、公共施設の老朽化が進んでいるって言うんだけど、今後、施設の改修や建て替えにどれくらいの費用が掛かるの？

総務省の「公共施設等更新費用試算ソフト」によると、現在の規模のまま築30年で大規模改修、築60年で建て替えをすると仮定した場合、今後30年間の建築物系施設の改修や建て替え費用の見込みは、1年当たり約107億円となります。

これは平成22年度から平成26年度までの5年間の実績（1年当たり約60億円）の1.8倍となります。



2



道路、公園などの都市基盤（インフラ）施設の改修はどれくらいの費用が掛かるの？

平成22年度から平成26年度までの5年間の実績は、1年当たり約101億円でした。

今後30年間では1年当たり約167億円必要であると試算されており、これまでの1.6倍の費用が必要となります。

3



このまま何もしないとお金が掛かるんだね

そのとおりです。使える予算には限りがあるので、予防保全による施設の長寿命化・有効活用を計画的に実施することにより、各年度に必要な費用の平準化、施設にかかるコストの削減、新たな収入の確保などを積極的に行い、将来世代への負担を軽減する必要があります。

まとめ



公共施設の改修、更新費用は、今後、大きな財政負担となり、他の行政サービスに支障を来す恐れがあります。将来にわたり、必要な行政サービスを継続するため、長寿命化や統廃合など、施設の有効活用を進めるとともに、今から財源の備えをしていくことが必要です。

今回は、11月上旬号で市の収入である「税金」の今後の見通しについてお伝えします。

問い合わせ先

管財課

(☎354-8288 FAX359-0275)

有料広告掲載欄

みなと総合法律事務所

弁護士 杉岡 治 弁護士 森川 仁
弁護士 森田明美 弁護士 山本伊仁
弁護士 村林敏也 弁護士 櫻井大知

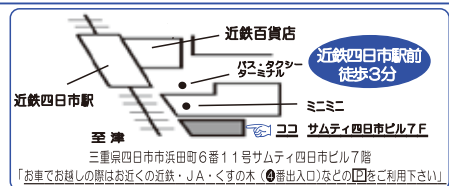
(三重弁護士会)

☎(059)354-3355(代)

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝除く)

【取扱業務】

商取引・不動産問題
交通事故などの損害賠償
相続・遺言・遺産
離婚 婚
破産・民事再生・債務整理
労働問題
刑事弁護
会社顧問・その他全般



まずはお気軽に、ご相談下さい

相談料 60分10,000円 30分5,000円(各税抜)

URL <http://minato-law.net>

みなと総合法律事務所 四日市 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。